



適切な予防をして

今月から連載!!

熱中症を防ぎましょう!

今回は、熱中症の予防法について勉強します。

※「厚生労働省熱中症予防のための情報・資料サイト」から引用

熱中症とは、高温多湿な環境に長時間いることで、体温調整機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもってしまう状態を指します。屋外だけでなく室内でも起らないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。子どもや高齢者は特に注意が必要です。

熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気を付けるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

第1回 「熱中症について知ろう」

6月に入り、気温の上昇が予想される中で、外で活動する機会も増えてくると思います。熱中症から自分の身を守るために、今月から3号連続で熱中症について勉強していきましょう。初回となる今月のテーマは「熱中症について知ろう」です。

熱中症を防ぐために
知っておきたいこと



注意! 熱中症の症状いろいろ



■尾花沢市消防本部 救急係 ☎22-1131 (直通)

まってるよ!



まちとしよ



~大石田町立図書館 information~



webOPAC
スマホ版

◆☎35-3877 ◆公式HP <http://nji.town.oishida.yamagata.jp/library>

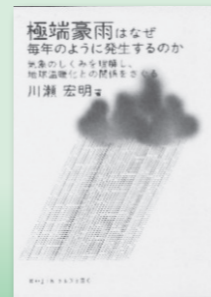
◆大石田町立図書館蔵書検索システム(webOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

■開館時間 午前9時~午後7時(日曜日・祝日は午前9時~午後5時)

■休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日)《7月の休館日》7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)

7月の特集「知って備える水害・土砂災害」

大石田町にも多くの被害をもたらした、「令和2年7月豪雨」から約2年。災害はどうして起こり、私たちはどう対応すべきなのか、改めて考えてみませんか?



『極端豪雨はなぜ毎年のように発生するのか』
(川瀬 宏明//著 化学同人)

極端な豪雨はなぜ頻発するようになったのか。直近10年の豪雨災害を振り返り、その発生状況を整理。豪雨をもたらす要因、線状降水帯や台風と豪雨の関係などを解説。地球温暖化の現状と豪雨との関係にも迫る。

『防災ハンドメイド』(辻 直美//著 KADOKAWA)
防災グッズは、身のまわりにあるもので工作できる! 新聞ぐつ、ボトルシャワー、ペットボトルのお皿…。身近なものや100均グッズを材料に、災害時に役立つ衣・食・住グッズの作り方を紹介する。

『調べてわかる! 日本の川2』(佐久間 博//編著 汐文社)
日本の川を写真やイラストとともに紹介。2は、洪水などの水害をもたらす川の脅威をいかに鎮め、どうコントロールするか、いのちと暮らしを守る治水の歴史とともに、先人たちの成し遂げた偉業と水防の知識を解説する。

今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!



『0』

(堂場 瞬一//著 河出書房新社)

ベストセラー作家・岩佐友が死去した。彼は生前、周囲に「すごい原稿がある」と漏らしていた。岩佐と唯一交友を持っていた作家の古谷悠と担当編集者の仲本美知は、それを「未発表原稿」と推測し、原稿捜索に乗り出すが…。

『大ピンチずかん』

(鈴木 のりたけ//作 小学館)

ガムを飲んだ!トイレの紙がない!? こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベルの大きさと、5段階のなりやすさで分類。レベルの小さいものから順番に掲載し、その対処法をユーモアたっぷりに紹介する。



『日本刀が見た日本史』

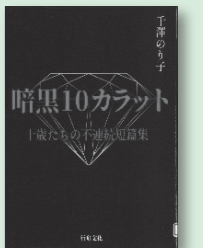
(刀剣ファン編集部//著 天夢人)

神話時代から奈良、平安、鎌倉、室町、そして戦国時代、江戸、明治、近代へと続く歴史を陰から支え、見つめてきた日本刀。日本の歴史を動かした事件や人物たちと日本刀の関わりを紹介する。

『暗黒10カラット』

(千澤 のり子//著 行舟文化)

正宗が通う小学校で開催される「二分の一成入式」。破綻した家庭の正宗には偽善としか思えない。だが、正宗は知っていた。殺人が起きて式典が中止になることを…。家族を巡る十歳たちの犯罪を綴った、キッズ・ノワール短篇集。



『笠原将弘の毎朝父さん弁当』

(笠原 将弘//著 KADOKAWA)

料理人・笠原将弘は毎朝3人の子どもにお弁当を作っている。私的ベスト5弁当、のり弁、シャケ弁、スペシャルのつけ弁といったお弁当レシピとともに、卵焼きや卵の変化球おかず、晩酌のアテにもなるお弁当おかずなどを紹介。



『10代と考える「スマホ」』

(竹内 和雄//著 岩波書店)

中学生がネット社会を生き抜くために必要なことを知り、自分で考え、正解のない答えを探り出すための入門書。実際に起こったSNSのトラブルやゲーム依存等に触れながら、スマホを安全に使うためのルール作りについて考える。

※すべて町立図書館蔵書